

読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

てい がく ねん
低学年も
チャレンジ!

Q1

取り組みは、岡山市に本社がある企業が熱中症対策として行いました。熱中症を防ぐ他のアイデアはないかな。考えてみよう。

岡山市内にある工場の建築現場に、かき氷を提供するキッチンカーがお見えしました。記事を読んで質問に答えましょう。

Q2

かき氷のキッチンカーは、7月に発足した若手社員のチームが企画しました。チームの目的は何ですか。第3段落から探して答えましょう。

Q3

記事全体を読んで、内容として正しいものはどれですか。次の三つから一つ選びましょう。

- ①用意したかき氷は、イチゴとメロン、ブルーハワイの3種類
- ②キッチンカーは、岡山市内の飲食業者に委託した
- ③かき氷を無料で提供したのは、岡山、広島県内10カ所の現場

荒木組、建築現場で提供

炎天下のオアシスに……。岡山市東区鉄の工場の建築現場に2日、かき氷を提供するキッチンカーが登場した。施工する総合建設業の荒木組（同市北区天瀬）が熱中症対策として用意。汗だくの職人たちが作業の合間に一服の涼を味わった。

日差しがじりじりと照りつける中、キッチンカーの前には同社と協力業者の従業員約50人が列をなし、イチゴやメロン、ブルーハワイなど11種類から好みの味を注文。屋外の作業でほてった体を冷ました。電気設備や配管工事に携わる協力業者の中原啓人さん（29）

熱中症対策にかき氷



炎天下の建築現場に現れたかき氷キッチンカー。汗だくの職人たちが体を冷ました

は「ひんやりしてシロップの甘さが体に染み渡る。リフレッシュできた」と話した。

かき氷のキッチンカーは、同社が7月に発足させた、工事現場の環境改善を図る若手社員8人のチームが、第1弾の取り組みとして市内の飲食業者に委託して実施。8月20、21日この日に岡山県内10カ所の現場を回り、約400人に無料で提供した。

同社は「建設業界では4月に残業規制が適用され、人手不足も深刻化している。現場のモチベーションや業界イメージを高める取り組みを今後展開したい」としている。（鈴木省吾）

過去の問題は
こちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。